

消防学校だより

令和5年5月号

発行年月日 令和5年5月31日
発行 宮崎県消防学校

初任科（機器取扱訓練）

消防資機材取扱訓練を実施しました。消防活動は、部隊を基礎として行う組織活動です。この隊を構成する隊員と機械器具（車両等）並びに、消火活動を行う消防水利の3つを 消防力の三要素と言い、これを最大限に活用し、国民の生命、身体及び財産を守る活動を行います。

消防活動を行う際に使用する資機材の諸元や取扱いを訓練しました。

三連はしご取扱訓練



救命索発射銃取扱訓練



チェーンソー取扱訓練



削岩機、エンジンカッター取扱訓練



初任科（健康と体力）

健康と体力と題して、消防体（體）育訓練等で「心と体と勇気」を育てるタフジャパンの鎌田 修広氏に講義をしていただきました。講義では、心理的エネルギーとストレスや危機への対応、自己を肯定することなど、これから消防人として歩んでいく初任科生には心に響くものがあつたと思います。

最後はキャリアゲスマイルで記念撮影しました。



初任科（応急手当）

5月17日（水）、心肺蘇生法及びAED取扱い訓練など、応急手当の授業を行いました。

昨今の初任科生は、救急救命士の有資格者も多く、救急に関する知識を持つ者も多くいますが、応急手当について、基礎的な知識、手技を修得させました。



初任科（通常点検）

入校から、一月が過ぎ、制服も衣替えしました。
訓練礼式もおおよそ身につけ、顔立ちも精悍さが増してきました。



初任科（消防ポンプ）

消防ポンプの性能や諸元、水力学を学びました。
放水時の反動力など、座学では理解しがたい部分を体感させました。



初任科（安全管理）

火災現場などの災害現場において発生する煙や有害な有毒ガスを吸わないためには、空気呼吸器が欠かせません。ただし、空気ボンベ内の空気は無限ではなく、有限であるため、自分が空気をどれくらい消費するのか把握し、ボンベの容量と圧力によって、自らの活動時間を管理する必要があります。

有酸素運動を行い、各個人の空気消費量を求めました。



初任科（機器取扱訓練効果測定）

5月23日（火）、機器取扱訓練の成果を確認するため、効果測定を実施しました。
各学生共に、緊張した表情でしたが、学んだことを十分に発揮していました。



消防団（団長研修）

5月23日（火）、消防団長研修が行われました。

県内26市町村の消防団長が一同に会し研修会が行われました。消防学校における消防団教育概要と消防操法について聴講され、その後、本校敷地内にある消防殉職者慰霊碑で、消防活動に従事し殉職された先人に対し敬意を込め黙祷しました。



消防団（消防団指揮幹部科 分団指揮課程）

5月18日（木）、19日（金）の2日間で、分団指揮課程を行いました。

昨今の災害は、多種多様化、大規模化しており、分団長は、従来の資器材とドローンなど情報収集資器材を積極的に活用し、災害防御と団員の安全を確保することが求められます。指揮者としての指揮訓練、ドローン取扱い訓練を実施しました。



消防団（消防団指揮幹部科 現場指揮課程 追加）

5月13日（土）、14日（日）及び5月20日（土）、21日（日）で現場指揮課程を実施しました。

昨今の消防活動は、火災・各種事故、自然災害はもとより、様々な事象に対応しなければなりません。各団員は、自らが消防団の中核となる人材である自覚を持ち、真摯に教育訓練に取り組みました。

国富町消防団

綾町消防団



初任科（消防活動訓練）

5月25日（木）、消防用ホースの取扱い訓練を行いました。

消防用ホースの搬送及び延長や収納などは、消火活動を実施する際にはとても重要な仕事です。基本的動作を身につけて安全で迅速な活動が出来るように、繰り返し訓練していきます。



初任科（救助技術指導会視察）

5月26日（金）、宮崎県消防救助技術指導会視察のため、宮崎市北消防署東分署へ行きました。先輩職員の規律ある動作や、迅速な技術訓練を実際に視察し刺激を受けました。今年度は、九州大会が本県で開催されるので、出場する隊員のご健闘をお祈りいたします。視察後は、恒例の10kmランニングで帰校しました。



警防・特殊災害科

5月29日(月)、第32期警防・特殊災害科に14名が入校しました。これから6月14日(水)までの13日間、個人装備や車両を含む資器材、特殊災害対応などについて深く学びます。



宮崎市	岡田 了亮 (総代)
	菊永 裕斗
都城市	中崎 広希
	今城 義智
延岡市	川名 宏樹
	岡田 祐太
日向市	黒木 将太郎
	門脇 隆也
日南市	谷元 美博
	小野 紘平
西 諸	三角 慧
西都市	猪股 佳朗
東児湯	小坂 宗大
西臼杵	飯干 涼

警防・特殊災害科 (ホースの諸元と性能)

5月30日(火)、ACT ヨコイ株式会社から、米田 年幸氏、山北 賢太郎氏を講師に招き、消防用ホースの諸元と性能について講義していただきました。消防用ホースのメーカーや種類(織り、材質)など構造から廃棄の目安など、消防用ホースについて深く学びました。



警防・特殊災害科 (現場指揮)

図上シミュレーション訓練を実施しました。火災現場で指揮者として求められる、実態把握、状況判断、決断、命令と実行、報告と評価などを訓練しました。



警防・特殊災害科 (消防隊員用個人装備について)

5月31日(水)、株式会社 服部商店から、堀江 潤氏を講師に招き、消防隊員用個人防火装備について講義していただきました。安全な消火活動のためにメーカーが貢献・寄与できる情報の共有ということで、防火服の進化や性能、メンテナンス等を含め幅広く話していただきました。



6月の主な行事

- 夏期移動消防学校 6月1日(木)～18日(日)
- 第34期救助科 6月19日(月)～7月14日(金)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp